



令和8年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和8年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社
コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光 (TEL) 06-6635-0201
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第3四半期	32,541	△6.7	3,318	△22.7	3,715	△19.3	2,555	△22.1
7年3月期第3四半期	34,880	△4.1	4,290	△6.7	4,602	△7.2	3,279	△7.5

(注) 包括利益 8年3月期第3四半期 3,108百万円(1.3%) 7年3月期第3四半期 3,067百万円(△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第3四半期	67.21	—
7年3月期第3四半期	84.69	—

(注) 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期第3四半期	71,020	57,086	80.3	1,501.61
7年3月期	69,842	55,572	79.5	1,462.20

(参考) 自己資本 8年3月期第3四半期 57,025百万円 7年3月期 55,514百万円

(注) 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	80.00	—	130.00	210.00
8年3月期	—	16.00	—	—	—
8年3月期(予想)	—	—	—	20.00	36.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。令和7年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。令和8年3月期については、株式分割後の内容を記載しています。

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	45,800	△0.7	4,600	△14.8	4,800	△16.1	3,400	△17.6

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。令和8年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

8年3月期3Q	38,831,900株	7年3月期	38,831,900株
8年3月期3Q	855,665株	7年3月期	865,275株
8年3月期3Q	38,015,775株	7年3月期3Q	38,725,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は役員報酬BIP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
<参考資料>	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業のデジタル投資や個人の雇用・所得環境の改善を背景に、内需を中心に緩やかな回復が続きました。一方で、外需は米国の通商政策の影響による輸出・生産の弱含みが見られ、全体としては足踏み状態となりました。

当社グループが所属しておりますステンレス業界では、建設業界の人手不足に伴う工事停滞により、建材向け需要が大幅に減少いたしました。また、中国製を中心とする安価な輸入材の急増が市況価格を押し下げ、厳しい経営環境が続いております。

今後の見通しにつきましては、内需の底堅い推移や電子部品需要による輸出の回復が期待されるものの、地政学リスクや人手不足による供給制約には警戒が必要です。 ステンレス市況については、海外製品への不当廉売（反ダンピング）調査が進展する中、ニッケル価格の急騰に伴う材料価格上昇の兆しもあり、その動向を慎重に注視してまいります。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は325億41百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。前年同四半期に比べ販売数量の減少により、売上高は減少しております。また収益面におきましては、人件費や運送費の増加等により、営業利益は33億18百万円（前年同四半期比22.7%減）、経常利益は37億15百万円（前年同四半期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、25億55百万円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

（日 本）

日本事業の売上高は311億98百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント営業利益は32億88百万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、自動車用が前年同四半期と比べて販売数量はほぼ横ばいでしたが、配管用と装飾管用は販売数量が減少したため、売上高は184億62百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて販売数量が大幅に減少したことにより、売上高は73億97百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

ステンレス加工品部門は、給湯器用フレキ管の販売が回復し、売上高は7億70百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

鋼管部門は、前年同四半期と比べ販売数量は若干増加しましたが、製品価格が下落したため、売上高は40億94百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

機械部門は、前年同四半期に比べ販売台数が減少したため、売上高は4億73百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

（インドネシア）

インドネシア事業は、二輪完成車の販売市況は好調に推移しましたが、二輪用は客先の一部が内製化を開始したため、販売数量が減少しました。四輪完成車の販売市況は内需の冷え込みによる購買力の低下やローン審査の厳格化等により低迷したため、四輪用の販売数量は大幅に減少し、売上高は13億42百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。販売数量の大幅な減少と販売価格の下落が影響し、セグメント営業利益は29百万円（前年同四半期比51.7%減）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)		前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	
区分	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日本						
ステンレス管	19,292	55.3	18,462	56.7	25,557	55.4
ステンレス条鋼	8,440	24.2	7,397	22.7	11,122	24.1
ステンレス加工品	741	2.1	770	2.4	1,004	2.2
鋼管	4,258	12.2	4,094	12.6	5,677	12.3
機械	522	1.5	473	1.5	680	1.5
インドネシア	1,625	4.7	1,342	4.1	2,099	4.5
合計	34,880	100.0	32,541	100.0	46,141	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は710億20百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億78百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の減少9億5百万円、投資有価証券の増加15億61百万円などであります。負債の部は139億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億36百万円減少いたしました。負債の部の増減の主なものは、未払法人税等の減少5億28百万円、流動負債（その他）の増加3億14百万円などであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は570億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億14百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が9億51百万円、その他の包括利益累計額が5億50百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.8ポイント上昇し、80.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和7年5月9日に決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,976	15,161
受取手形及び売掛金	8,512	7,607
電子記録債権	6,304	6,524
有価証券	—	199
棚卸資産	12,021	12,078
その他	253	204
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	43,053	41,759
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,039	8,090
その他（純額）	8,175	8,937
有形固定資産合計	16,214	17,027
無形固定資産		
その他	136	123
無形固定資産合計	136	123
投資その他の資産		
投資有価証券	7,068	8,629
その他	3,377	3,488
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	10,437	12,108
固定資産合計	26,788	29,260
資産合計	69,842	71,020
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,651	2,435
電子記録債務	5,155	5,205
短期借入金	536	679
未払法人税等	748	220
賞与引当金	429	165
その他	1,527	1,841
流動負債合計	11,049	10,546
固定負債		
長期借入金	1,470	1,300
役員株式報酬引当金	46	84
退職給付に係る負債	170	175
その他	1,533	1,827
固定負債合計	3,220	3,387
負債合計	14,269	13,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	39,261	40,212
自己株式	△801	△791
株主資本合計	52,970	53,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,533	1,952
為替換算調整勘定	905	1,049
退職給付に係る調整累計額	105	91
その他の包括利益累計額合計	2,544	3,094
非支配株主持分	57	60
純資産合計	55,572	57,086
負債純資産合計	69,842	71,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	34,880	32,541
売上原価	26,177	24,712
売上総利益	8,703	7,828
販売費及び一般管理費	4,412	4,510
営業利益	4,290	3,318
営業外収益		
受取利息	13	32
受取配当金	106	162
持分法による投資利益	142	154
為替差益	29	28
その他	44	49
営業外収益合計	336	428
営業外費用		
支払利息	10	20
その他	13	10
営業外費用合計	24	31
経常利益	4,602	3,715
特別利益		
投資有価証券売却益	67	0
特別利益合計	67	0
特別損失		
固定資産除却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	4,667	3,713
法人税、住民税及び事業税	1,228	1,022
法人税等調整額	158	136
法人税等合計	1,386	1,158
四半期純利益	3,281	2,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,279	2,555

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	3,281	2,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312	419
為替換算調整勘定	56	59
退職給付に係る調整額	△30	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	70	87
その他の包括利益合計	△214	552
四半期包括利益	3,067	3,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,062	3,105
非支配株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,255	1,625	34,880	—	34,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,255	1,625	34,880	—	34,880
セグメント利益	4,229	60	4,290	0	4,290

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,198	1,342	32,541	—	32,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,198	1,342	32,541	—	32,541
セグメント利益	3,288	29	3,318	0	3,318

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	797百万円	851百万円

<参考資料>

令和8年1月30日

モリ工業株式会社

令和8年3月期 第3四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R7.3.末	当四半期末 R7.12.末	増減		前期末 R7.3.末	当四半期末 R7.12.末	増減
流動資産	43,053	41,759	△1,294	流動負債	11,049	10,546	△503
現金及び預金	15,976	15,161	△815	支払手形及び買掛金	7,806	7,640	△166
受取手形及び売掛金	14,816	14,131	△685	短期借入金	536	679	143
有価証券	—	199	199	未払法人税等	748	220	△528
棚卸資産	12,021	12,078	57	引当金	429	165	△264
その他	237	189	△48	その他	1,527	1,841	314
固定資産	26,788	29,260	2,472	固定負債	3,220	3,387	167
有形固定資産	16,214	17,027	813	長期借入金	1,470	1,300	△170
土地	8,039	8,090	51	役員株式報酬引当金	46	84	38
その他	8,175	8,937	762	繰延税金負債	1,017	1,340	323
				その他	686	662	△24
無形固定資産	136	123	△13	負債合計	14,269	13,933	△336
投資その他の資産	10,437	12,108	1,671	純資産	55,572	57,086	1,514
投資有価証券	7,068	8,629	1,561	株主資本	52,970	53,931	961
退職給付に係る資産	1,701	1,728	27	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	—
その他	1,667	1,750	83	利益剰余金	39,261	40,212	951
				自己株式	△801	△791	10
				その他の包括利益累計額	2,544	3,094	550
				非支配株主持分	57	60	3
資産合計	69,842	71,020	1,178	負債・純資産合計	69,842	71,020	1,178

2. 棚卸資産回転月数(期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第3四半期	当第3四半期	増減
棚卸資産回転月数	3.22	3.34	0.12

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
813	1,579	819	△2	51
日本 (802)	(1,554)	(743)	(9)	(—)
インドネシア (11)	(25)	(76)	(△11)	(51)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R7.3.末	当四半期末 R7.12.末	増減
有利子負債 ①	2,018	1,991	△27
現預金等換金性のもの ②	15,976	15,360	△616
実質有利子負債 ①－②	△13,958	△13,369	589

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 R6.4-R6.12	百分比 %	当第3四半期 R7.4-R7.12	百分比 %	増減
売上高	34,880	100.0	32,541	100.0	△2,339
売上原価	26,177	75.0	24,712	75.9	△1,465
売上総利益	8,703	25.0	7,828	24.1	△875
販売費及び一般管理費	4,412	12.7	4,510	13.9	98
営業利益	4,290	12.3	3,318	10.2	△972
営業外収益	336	1.0	428	1.3	92
受取利息	13		32		
受取配当金	106		162		
持分法投資利益	142		154		
為替差益	29		28		
その他	44		49		
営業外費用	24	0.1	31	0.1	7
支払利息	10		20		
その他	13		10		
経常利益	4,602	13.2	3,715	11.4	△887
特別利益	67	0.2	0	0.0	△67
投資有価証券売却益	67		0		
特別損失	2	0.0	2	0.0	0
固定資産除却損	2		2		
税引前四半期純利益	4,667	13.4	3,713	11.4	△954
法人税等	1,386	4.0	1,158	3.5	△228
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0.0	0	0.0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,279	9.4	2,555	7.9	△724

6. 当第3四半期の経常利益増減要因(前第3四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 変動費率の減少	195	1. 生産金額(量・価格含む)の減少	△884
2. 受取利息・受取配当金の増加	75	2. 固定費の増加	△204
3. その他	211	3. 為替差損益	△1
		4. 棚卸評価差損益	△279
計	481	計	△1,368
		差引	△887